

令和3年5月31日

30年中間貯蔵施設地権者会 会長 門馬 好春

本年度も主な活動内容を第20回会報としてお届けさせていただきました。

会員の皆さまには引き続きのご支援、ご理解をよろしくお願い申し上げます。

1.【第7回定期総会(書面決議)】

5月24日(月)第7回定期総会を昨年度と同じくコロナ禍につき書面議決により開催・成立し第1号議案から第6号議案について、会員の皆さまにご承認を頂きました「令和3年度事業計画」に基づき活動を行って参ります。

2.【団体交渉開催への活動】

前回会報でもご報告致しました、環境省からの電話での一方的な交渉打ち切り通告については、非礼で横暴であることを皆さまにご理解頂き、当地権者会に対する多くの支援の声を頂いております。

今後も福島県・大熊町・同議会・双葉町・同議会と情報共有を図ると共にご支援を得、団体交渉の実施を環境省に求めて参ります。

①4月21日双葉町町議会に於いて複数の議員から交渉再開の申し入れを行って頂き、環境省室石所長は「検討する」と回答をしております。「YouTube 配信中」

②環境省の通告は被災者でもある地権者軽視、事業者責任の放棄であります。

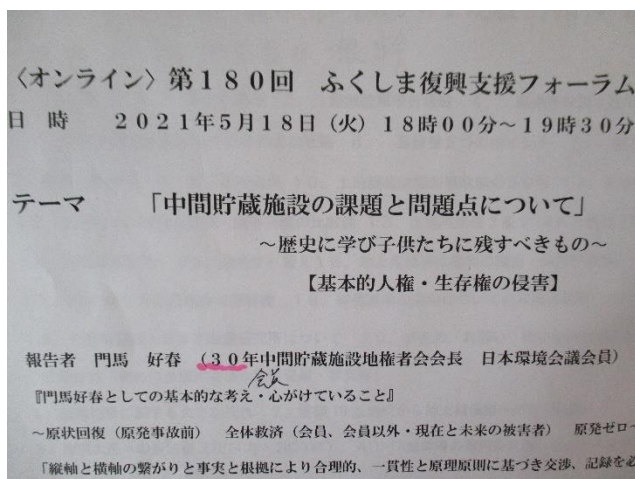
3.【第 180 回ふくしま復興支援フォーラム】

5月18日門馬会長が同フォーラム(オンライン)で「中間貯蔵施設の課題と問題点について」報告させて頂きました。定員を超える皆さまのご参加申込を頂き、報告後は環境省の理不尽な対応に対して多くのご声援、ご支援を頂戴致しました。

なお、同フォーラムに寄せられたご意見等につきましては、「ふくしま復興支援フォーラム」のホームページをご覧頂きますようお願い致します。

〈オンライン報告中の門馬会長〉

〈フォーラムでの報告資料(表題)〉



4.【5月23日環境省対話フォーラム】

門馬会長もオンライン参加で質問を致しましたが、他の方と同様に回答はありません。

2045年3月12日迄に福島県外最終処分場へ搬出し事業を終了させる対話集会在目的のはずでしたが、汚染土全国再利用に目的がすり替えられた内容でした。

皆さまご承知のように汚染土の再利用は県内でも多く反対されております。

また、昨年環境省の同法改正案はパブコメ等多数の反対意見で見送りになりました。

ですので、再度同じ改正法案を成立させたい目的が透けて見える内容でした。

5.【第9回環境省説明会】

前回昨年11月開催、第8回環境省説明会から約半年経過しておりますが、コロナの変異型ウイルスの拡大傾向により、環境省と開催時期を調整しております。

ワクチン接種の普及などによるコロナの鎮静化の様子を踏まえて実施時期・場所を検討・調整したうえで皆さまにご連絡させていただきますので宜しくお願い致します。

6.【懲戒請求に対する資料の追加提出】

昨年11月日本不動産研究所に対する懲戒請求を日本不動産鑑定士協会連合会に提出し、4月追加資料を提出致しましたが、5月18日のふくしま復興支援フォーラムの内容を再び追加資料として当連合会に対して提出致します。

7.【環境省との交渉】

4月20日の門馬会長の個人交渉は作本副会長、伊藤会員が同席、団体交渉と同じ内容を交渉致しました。今後も同様に継続して交渉を行いご報告させていただきます。

畠山用地補償課長は「仮置き場との比較ができないのは事業が違うとしか言えない」と回答しています。これは用地補償の基本中の基本であり、大原則の間違いです。

この環境省の初歩的な誤りを今後も団体交渉でも個人交渉でも糾して参ります。

8.【マスコミ等への広報活動について】

第180回ふくしま復興支援フォーラムでは、多くのマスコミの方々にもご参加申込を頂くと共に、今後の取り組みへの前向きなご意見等も頂戴致しました。

今後も、広報活動を通して国民の皆さまへの理解を広めて参ります。

9.【先生方からのご指導ご支援について】

第180回ふくしま復興支援フォーラムには2015年のシンポジウムでご登壇頂きました

除本理史先生、磯野弥生先生はじめ多くの先生方にもご参加頂きました。

また、熊本一規先生にはフォーラムの中で門馬会長報告の重点項目の補足説明を

丁寧に分かり易く行って頂きました。更に報告後も、専門家の先生方からご指導を頂

きました。各先生方には、ここに改めて感謝申し上げる次第でございます。

【お願いとご連絡】

※お問合わせ等は、原則電子媒体（メール等）でお願い致します。

※門馬会長はフェイスブックに「門馬好春」で登録しております。

※熊本一規明治学院大学名誉教授への HP に当会活動等が紹介されております。

先生の URL は <http://kumamoto84.net/>です。

（問い合わせ先：30 年中間貯蔵施設地権者会 事務局長 門馬好春）

PC メール mommayoshiharu@gmail.com 携帯電話 090-3533-5515